

ほろけん

313 顔認証



大崎短歌会

兼題『自由』

雪輪模様の中に母子草やさしかり

日がな眺めて来し方憶ふ

あら嬉し今年も咲いたアマリリス

空に向かつて朱い花弁はなびら

寝過ぎしの窓を開ければ日本晴れ

つつじは赤く庭を染めいる

山ふじの影を写せし田の水に

蝌蚪かたどうようと足の生えたる

庭先に小さき野の花凜と咲く

吾ここに有り生きるを説くよ

若葉風いないないばあに戯るる

小さき喃語を生み出せり

上南紀子

実吉安仁

坂元つる子

山下海征

井元かず子

馬場みさ

朝晩の気温の乱高下冬物の

ベスト一枚しまいきれずに

病棟の窓よぎりいく夏雲の

あの雲の下を歩いてみたい

穂園芳江

本後淑子

薩摩郷句

兼題『テレビ』

テレビ相手あて あいよじやいなち 相槌あを打つ

(唱) 良か語り相手 有難あてテレビ

諸木小春

赤子あかこどが ぱっち振り見みた コマーシャル

(唱) 赤子あかこい人気 立派じつぱな宣伝

満石うらら

斬いく搔けつ テレビを消せば 見みちよつ言ちつ

(唱) 見みちよい筈はじや無なが おかおしな爺ぢ様

西ノ園にしひらり

子の守もゆば テレビがしちよいい スマホママ

(唱) テレビ任せせつ 気楽きだな親おやじや

上窪かみ小絵

語かたい合あが テレビ会話かいで け済けん時代じ代

(唱) 家いち居おいながい 便利べんなもんじや

藤元ふじ鬼瓦

列島れいをば 台風かぜをテレビで 怖おそらせつ

(唱) どげん大おてかち 心配せわでたまらじ

北村きた虎王

Eテレで 将棋しょうい励はま 可愛かわか棋士

(唱) テレビい習なる 誰だいにも負けじ

二見ふた愚楽ぐ満

徒然とぜんねち 見みらんテレビを 叫おげせつ

(唱) 一人ひとり住すめいも 有難あてテレビ

遠矢とん耐多

テレビ漬つけけ 婆ばばが解説かいちや 的てきを射やつ

(唱) じゃらいねえ言いて 兜かぶを脱だじよつ

上村かみ牛歩

テレビっ子 老人おいせなつてん まだテレビ

(唱) テレビ命いのつち ドラマイ狂くるつ

諸木もろ美舟

酷ひで話し テレビい映うつい ウクライナ

(唱) 戦争いくさを止やめつ 仲良なかした申もし

長重ながリリー